

日銀旭川事務所長のみた 旭川シーン SCENE ①

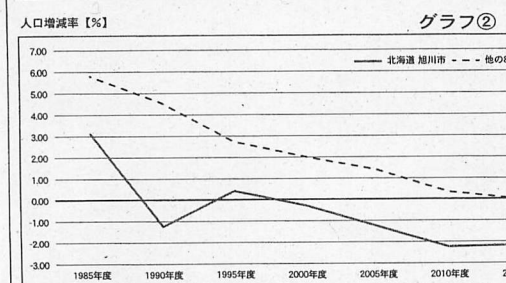
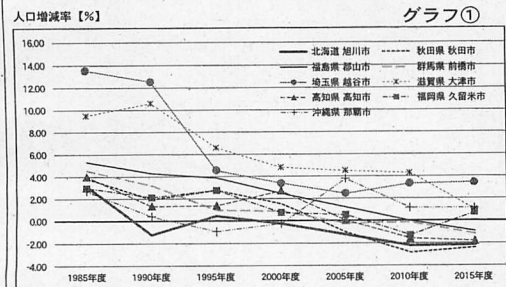
人口減少 旭川固有の要因とは

寄稿第一回となる今回は、ご挨拶した多くの経営者等の方々が口にされた人口減少のお話です。旭川市と同様の中核八都

市あります。すなわち、秋田市、郡山市、前橋市、越谷市、大津市、高知市、久留米市、那覇市です。これらの都市の一九八五年度から二〇一五年度までの人口推移は、グラフ①は、そのまま

三%下回って推移して来たことがわかります。これについてやや乱暴に言えば、旭川市人口の増勢鈍化から減少に至る推移は全国同様の要因(例えば、死亡数から出生数を引いた自然増減)で、その中で他の中核都市より二〜三%劣後して推移している部分には旭川市固有の要因(例えば、他の中核都市対比でみた、転出数から転入数を引いた社会増減)から、とも解釈できそうです。そうした場合、旭川市の二〇一五年度の人口減少率は、二〇一〇年度から幾分持ち上がり、他の八都市との差を若干埋めたようにも見えます。これは高齢者を中心とした転入によるとの話も仄聞(そくぶん)しました。民間や行政当局の旭川市発展に向けたご努力の成果なのかもしれません。期待を持ちたいと思います。

八月に日本銀行旭川事務所長として着任した中本です。本欄も前任から継承することとなりました。最初に、九月六日未明、道内で初めて最大震度七を観測した胆振東部地震につきましては、被災された方に衷心から哀悼の意を表します。旭川にお住まいの方々におかれても、停電や交通・物流の障害等から多大のご負担を被られたこと存じます。心からお見舞い申しあげます。



旭川市は他の中核都市平均より、二〜三%劣後して推移している部分には旭川市固有の要因(例えば、他の中核都市対比でみた、転出数から転入数を引いた社会増減)から、とも解釈できそうです。そうした場合、旭川市の二〇一五年度の人口減少率は、二〇一〇年度から幾分持ち上がり、他の八都市との差を若干埋めたようにも見えます。これは高齢者を中心とした転入によるとの話も仄聞(そくぶん)しました。民間や行政当局の旭川市発展に向けたご努力の成果なのかもしれません。期待を持ちたいと思います。

【中本浩信(なかもと・ひろのぶ) 一九六三年 東京都生まれ。東京大学法学部卒。支店は鹿児島、神戸に勤務。二〇一八年八月から旭川事務所長。趣味は絵画鑑賞。】
今後とも現在や将来の旭川を映し出し、あるいは予感させる印象的な情景に関連して、このコラムでお話しさせていただきます。読者の皆様、どうぞよろしく、お付き合い願います。(毎月第四週に掲載します)



停電で明かりを失った買物公園 6日午後6時

Sun Also Rises(日
はまた昇る)と思わず
におられませんでした。
また、今後、懸念される
観光を中心とした風評
被害に対しても、直接的
な被害が少なかった旭
川の個人々がソーシャ
ルメディア等で旭川健
在を発信し、北海道を牽
引していければと願っ
ております。